

2022年12月21日(水)第三水曜祈祷会

ヨハネの黙示録21:9~24

「新しいエルサレム」

【21章前半の概略】 * 黙示録のクライマックス。新天新地の到来は、究極的祝福の状態を示す

- ①新天新地は、今の世と連続性を持たない、新しいエルサレムとして天から降ってくる。
- ②都には神の幕屋があり、悲しみ、苦しみ、叫びがない。以前のものが過ぎ去ったからである。
- ③神の民が相続するのは天の都、反逆者が相続するのは火と硫黄の燃える池の中にある。

【21章後半の観察と黙想】

1. 聖なる都エルサレム(21章9—14節)

- ①七人の御使いの一人がヨハネに見せた光景はどのように違いますか(17:1)。
→
- ②聖なる都エルサレムはどのように表現されていますか。
→
- ③都が大きな高い城壁で囲まれているのは何を示していますか。
→

2. 宝石で飾られたエルサレム(21章15—21節)

- ①都はどんな形をしていて、その一辺はどのくらいの長さですか。
→
- ②都の城壁は何で造られ、都は何でできていましたか。
→
- ③都の城壁の土台石はいくつの宝石で飾られていますか。
→

3. 神の栄光が輝くエルサレム(21章22—27節)

- ①ヨハネはどうして都の中に神殿を見なかったのですか。
→
- ②都はどうして太陽も月も必要としなかったのですか。
→
- ③都に入ることができるのはどういう者たちですか。
→

【適用と分かち合い】

- ①ヨハネは聖なる都エルサレムを見せられた時どのように思ったでしょうか。
- ②聖なる都エルサレムのあらゆる宝石は何を表していますか。
- ③都に入ることができる者たちと、入ることができない者たちの違いは何ですか。